

2026年6月30日

各 位

会社名 株式会社 キャンバス
代表者名 代表取締役社長 河邊 拓己
(コード番号：4575 東証グロース)
問合せ先 取締役最高財務責任者 加登住 眞
IR@canbas.co.jp

2026年6月期の通期業績予想に関するお知らせ

当社は、2025年8月8日公表の2025年6月期決算短信において、2026年6月期の通期業績予想を非開示としておりました。このたび、2026年6月期（2025年7月1日～2026年6月30日）の業績予想数値について下記のとおり算出しましたので、お知らせします。

1. 2026年6月期通期（2025年7月1日～2026年6月30日）業績予想数値

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期（2025年6月期）実績（A）	-	△1,109	△1,156	△1,157	△61.14
今回発表予想（B）	-	△1,258	△1,220	△1,222	△62.02
増減額（B-A）	-	△149	△64	△65	

(注) 2026年6月期通期業績見通しを非開示としていたため、規定に従い比較対象を前期実績としています。
負の数どうしの比較は増減率の表示を省略しています。
数値は表示単位未満を切捨て表示しているため、合計等が一致しない場合があります。

2. 業績の通期見通しについて

(1) 事業費用

当社の事業費用は、CBP501臨床試験の進捗状況による影響が大きく事前の合理的予測が困難なことから、業績予想を非開示としていました。

2026年6月期においては、CBP501欧州臨床第3相試験開始申請に伴う当局対応・規制対応及び臨床試験の準備などのため、前期に引き続き、事業費用の多くを占める研究開発費が高水準で推移しました。

2026年6月期の現時点での事業費用見通し1,258百万円（前期実績1,109百万円に対し149百万円増）、うち研究開発費962百万円のうち、臨床開発費は736百万円を見込んでおり、この大半は欧州臨床第3相試験開始申請に伴う当局対応・規制対応及び準備に関する費用です。また、基礎研究費（前期実績216百万円）は226百万円と前期比微増の見通しです。これにはCBT005関連の研究費用が含まれています
一方、販売費及び一般管理費（前期実績289百万円）は前期比横ばいとなる見通しです。

(2) 事業収益

当社の事業収益は、提携契約等の締結に至った場合やライセンス済み化合物にかかるマイルストーンが達

成された場合に当該収入の及ぼす影響が大きく、事前の合理的予測が困難なことから、業績予想を非開示としていました。

2026年6月期において、臨床第2相試験を終え米国臨床第2b相試験開始承認受領・欧州臨床第3相試験開始申請段階にある化合物CBP501、前臨床試験準備段階にあるCBT005など各開発パイプラインについて製薬企業等との提携による収入獲得を図ってまいりましたが、2026年6月期中の実現には至りませんでした。

以上